THE NAGANO-KEN SHINKUMI BANK

# Kenshin Disclosure 2018.9

## けんしんBANKの現況
## 中間期ディスクロージャー誌

2018年（平成30年）4月1日～2018年（平成30年）9月30日

長野県信用組合

# けんしんBANKの概要

本店　〒380-8668
長野市新田町1103番地1
電話　026-233-2111（代表）

設立　昭和29年11月20日

| | |
|---|---|
| 出資金 | 10億52百万円 |
| 組合員数 | 132,223人 |
| 預金残高 | 9,293億円 |
| 貸出金残高 | 2,883億円 |
| 自己資本比率 | 17.05%（バーゼルⅢに基づく国内基準） |
| 職員数 | 705人（男428人 女277人） |
| 店舗数 | 52店舗 |
| 海外拠点 | 1か所（シンガポール駐在員事務所） |
| 営業地域 | 長野県一円 |

（平成30年9月30日現在）

本　店

# CONTENTS


理事長からのメッセージ …… 1
預金・貸出金の推移 …… 2
決算損益の推移 …… 2
自己資本額・自己資本比率の推移 …… 3
不良債権残高・不良債権比率の推移 …… 3
資金運用状況 …… 3
トピックス …… 4
セミナーの開催 …… 5
地域活性化の取組み …… 6
平成30年度の新築店舗 …… 7
主要経営諸指標 …… 8
不良債権等の情報 …… 9
自己資本の充実の状況等 …… 9

シンガポール駐在員事務所

（注）本資料において掲載してある計数は、下記のとおり表示しております。

1. 金額
　単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中の合計欄の金額が一致しない場合があります。
2. 諸利回・諸比率
　小数点第3位以下を切り捨て第2位まで表示しております。
3. 構成比
　小数点第3位以下を切り捨てて表示しているため、掲載している構成比の合計が100%とならない場合があります。
4. 主要経営諸指標・自己資本の充実の状況等における残高表示
　残高が全くない場合は「—」表示、表示単位未満の残高がある場合は「0」表示、当該期に勘定科目が存在しない場合は「／」表示しております。

# 地域の魅力を
# プロデュースし、
# 地域社会の発展に
# 尽くします

## 理事長からのメッセージ

平素よりみなさまには、長野県信用組合（けんしんBANK）に格別のご高配を賜りまして、心から感謝申しあげます。

平成30年度9月期の中間決算がまとまりましたので、ご報告申しあげます。

ご高覧を賜り、当組合の現況をご理解いただければ幸いに存じます。

私どもは、平成３０年度（第65期）の節目にあたり、ロゴマークを「けんしんBANK」と刷新し、金融仲介に加えて情報仲介機能を備えた新しい金融機関として、地域経済の支援・貢献に積極的に取り組むとともに、一層の業績向上と経営体質の強化・改善に努めてまいりました。

具体的には、セブン銀行ＡＴＭ利用手数料の24時間実質無料化、各種新商品の取扱開始、内国為替24時間365日稼働サービスへの対応、外部専門家・外部専門機関等の知見や情報を取り入れた経営支援策の更なる充実等、お客さまの利便性向上とニーズへの対応を最優先に掲げて、最善を尽くしてまいりました。

併せて、店舗の新設・移転に積極的に取り組み、大町支店が10月に移転オープンしたほか、14年ぶりの新設店舗となる箕輪支店の建設が本年11月の開店に向けて順調に進みました。

その結果、上半期の業績は、中間純利益において23億51百万円を計上するなど、着実な成果をあげることができました。

みなさまのご支援に対しまして、衷心よりお礼を申しあげます。

今後、下半期におきましても、一層、お客さま本位の金融サービスの提供に努める所存でございます。

みなさまにおかれましては、今後ともご愛顧を賜りますよう心からお願い申しあげます。

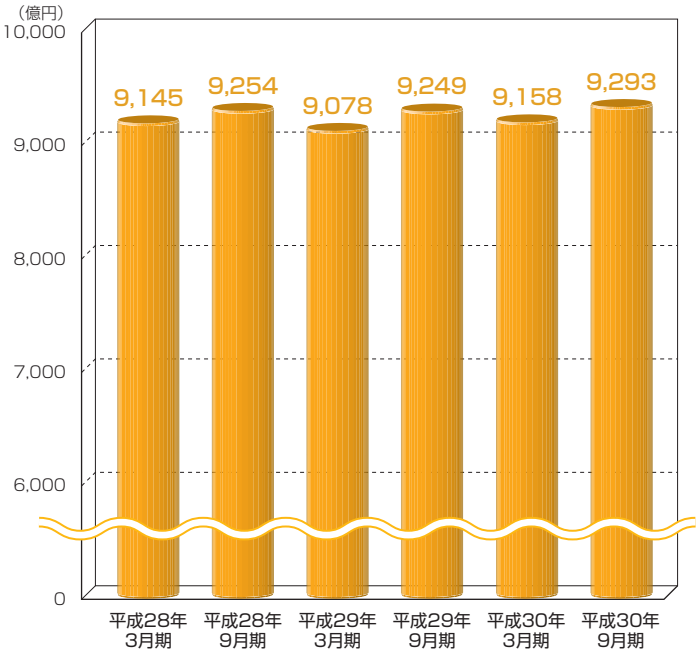
平成30年10月

理事長　黒岩　清

# 預金・貸出金の推移

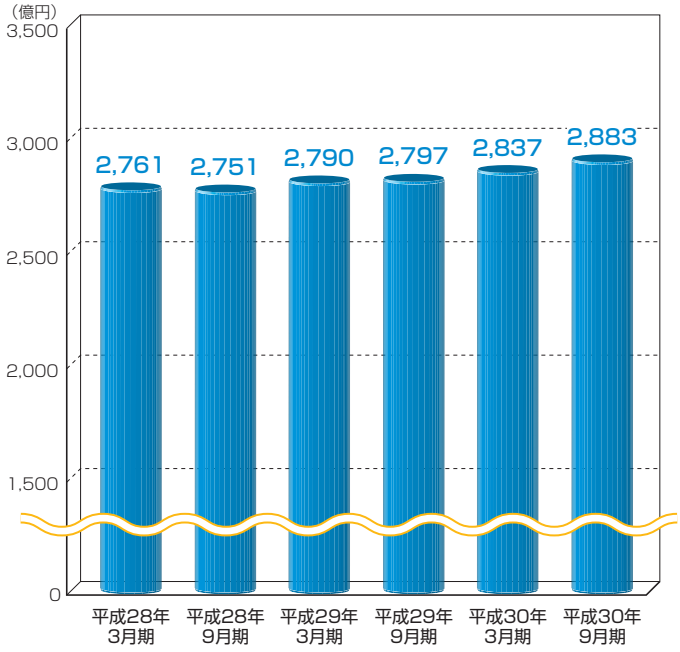
## 預金

個人定期預金・個人定期積金を主体とした個人預金及び法人預金の拡大に努めた結果、前期末比134億円増加して残高は9,293億円となりました。また、前年同期比では43億円の増加となりました。




## 貸出金

医療関連融資、国際支援融資を主体とした事業性融資に積極的に取り組んだ結果、前期末比45億円増加して残高は2,883億円となりました。また、前年同期比では85億円の増加となりました。




# 決算損益の推移

(注)9月期は、4月から9月までの6か月間の計数を記載しております。

## 業務純益

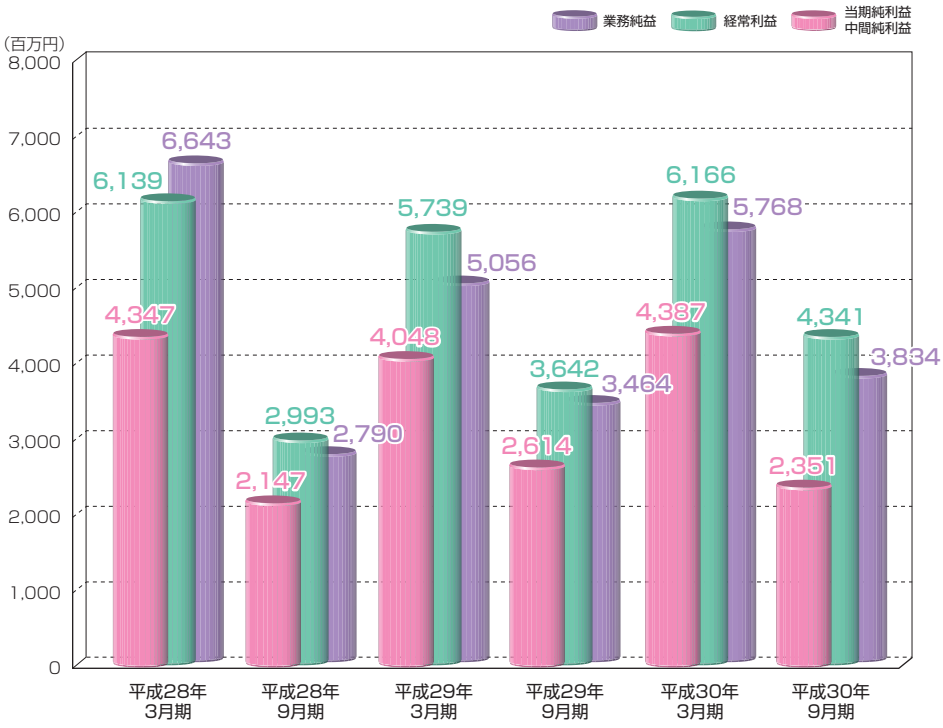
業務純益は、前年同期比3億69百万円増益の38億34百万円となりました。日銀の金融政策による市場金利の低下を反映し、貸出金利息が減少したものの、運用の多様化・高度化を図ったことにより、有価証券利息配当金が前年同期比3億10百万円増加したこと、及び預金積金利息が前年同期比74百万円減少したことが主な要因として挙げられます。

## 経常利益

経常利益は、前年同期比6億98百万円増益の43億41百万円となりました。業務純益の増益に加え、貸倒引当金戻入益を計上したことが主な要因として挙げられます。

## 当期純利益・中間純利益

中間純利益は、前年同期比2億63百万円減益の23億51百万円となりました。経常利益が増益となったものの、市場金利の低下に伴い営業店の収益を慎重に見積ったことにより、固定資産の減損損失を8億22百万円計上したことが主な要因として挙げられます。



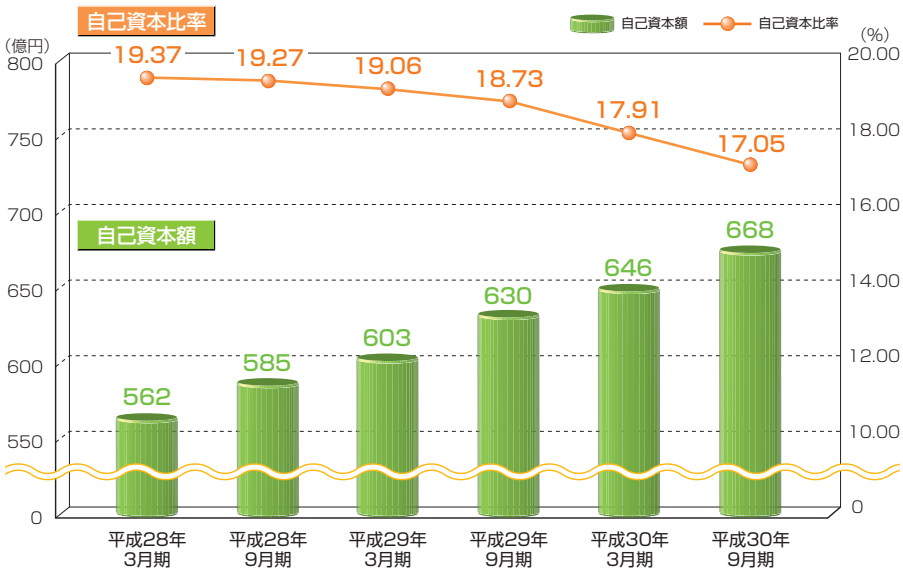
# 自己資本額・自己資本比率の推移

## 自己資本

自己資本比率は、中間純利益の積み上げにより自己資本額が増加したものの、事業債及び投資信託並びに貸出金等の増加によりリスク･アセットが増加したため、17.05%（前期末比0.86ポイント低下）となりました。

当組合の自己資本比率は国内基準の4%はもとより、国際基準の8%を大幅に上回っており、経営の健全性･安定性は十分確保しております。

**自己資本比率**とは、金融機関の体力を示す最も重要な指標であり、損失が発生する可能性のある資産総額（リスク･アセット）に対する、自己資本（返済の必要がない資本）の割合を示しています。この比率が高いほど、自己資金が豊富にあり経営基盤がしっかりしているといえます。

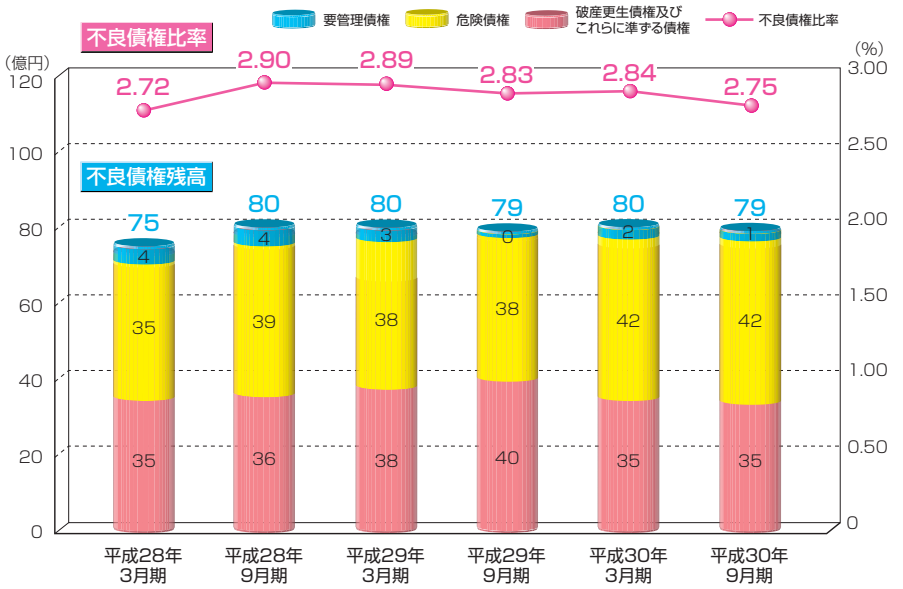



（注）バーゼルⅢに基づく国内基準による値を記載しております。

# 不良債権残高・不良債権比率の推移（金融再生法ベース）

## 不良債権

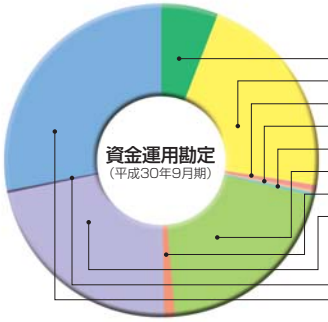
不良債権は、残高（金融再生法ベース）が79億79百万円（前期末比1億18百万円減少）となりました。また、総与信残高に占める比率は2.75%となり、前期末に比べ0.09ポイント改善しました。（部分直接償却を実施した場合の不良債権の額は59億82百万円となり、不良債権比率は2.08%となります。）




# 資金運用状況

## 資金運用状況

有価証券運用は、安全性の高い債券を主体に運用しております。

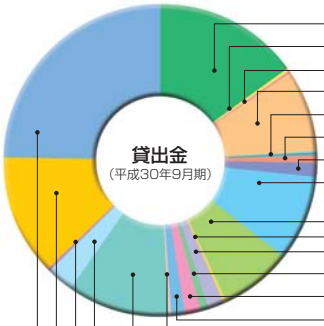



（単位:百万円）

| | | |
|---|---|---|
| 預け金（無利息分除く） | 63,595 | （ 6.24%） |
| 国債 | 219,018 | （21.50%） |
| 地方債 | 4,817 | （ 0.47%） |
| 政府保証債･公社公団債 | 1,105 | （ 0.10%） |
| 金融債 | 2,600 | （ 0.25%） |
| 事業債 | 203,171 | （19.95%） |
| 株式 | 9,086 | （ 0.89%） |
| その他の証券 | 226,121 | （22.20%） |
| その他 | 465 | （ 0.04%） |
| 貸出金 | 288,302 | （28.31%） |
| 合計 | 1,018,283 | |

## 貸出金業種別構成比

貸出金の業種別残高構成比は次のとおりになっております。




（単位:百万円）

| | | |
|---|---|---|
| 製造業 | 43,991 | （15.25%） |
| 農林漁業 | 1,404 | （ 0.48%） |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | 66 | （ 0.02%） |
| 建設業 | 24,662 | （ 8.55%） |
| 電気、ガス、熱供給、水道業 | 551 | （ 0.19%） |
| 情報通信業 | 1,978 | （ 0.68%） |
| 運輸業、郵便業 | 4,574 | （ 1.58%） |
| 卸売業、小売業 | 25,373 | （ 8.80%） |
| 不動産業 | 21,397 | （ 7.42%） |
| 物品賃貸業 | 410 | （ 0.14%） |
| 学術研究、専門･技術サービス業 | 5,429 | （ 1.88%） |
| 宿泊業 | 2,273 | （ 0.78%） |
| 飲食業 | 5,124 | （ 1.77%） |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 3,330 | （ 1.15%） |
| 教育、学習支援業 | 784 | （ 0.27%） |
| 医療、福祉 | 30,485 | （10.57%） |
| その他のサービス | 8,777 | （ 3.04%） |
| その他の産業 | 395 | （ 0.13%） |
| 地方公共団体 | 36,108 | （12.52%） |
| 個人 | 71,182 | （24.69%） |
| 合計 | 288,302 | |

# トピックス

## ○ロゴマークの刷新

お客さま本位の金融サービスの提供を行う新しい金融機関イメージを発信するため、平成30年4月から第65期を機に、ロゴマークを「けんしんＢＡＮＫ」に刷新しました。

けんしん BANK

**デザインコンセプト**

- ●けんしんの「け」の交差する部分は、地域・企業・お客さまとのかかわりを表現しました。
- ●赤いラインは安定感とともに信用・信頼・地域に根ざすことを意味し、斜めに変化する様は、向上・発展・変化をイメージしています。
- ●「ＢＡＮＫ」には、金融機関の意味に加えて、「情報や知見を集積し、顧客に配信する近代的機関」という意味を込めています。
- ●青色と赤色は当組合のコーポレートカラーです。

野沢支店の新メイン看板

## ○セブン銀行ATMの利用手数料を24時間実質無料化

10月1日から、けんしんＢＡＮＫのカードを全国のセブン銀行ＡＴＭでご利用いただく場合の手数料を、24時間実質無料化いたしました。

これまでは、平日夜間や日曜・祝日に有料となる時間帯がありましたが、即時、利用者の口座にキャッシュバックする方式で実質お客さまのご負担は生じません。

## ○融資新商品の取扱開始

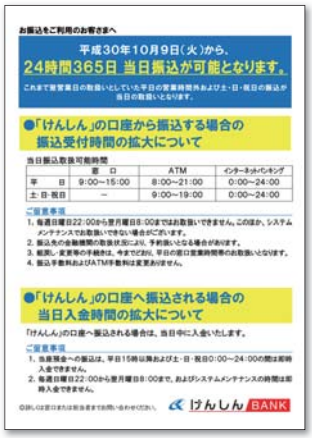
融資新商品として、9月２０日に事業承継応援ローン「ベストパス」を取扱開始いたしました。

事業承継にかかる費用を3億円以内でお借入いただけるほか、税理士・公認会計士等の専門家による無料相談（原則、初回無料）ができるサービスが付帯しており、事業承継に関するご相談からご融資までをワンストップで対応する商品です。

## ○即時振込対応時間を拡大

全国銀行データ通信システムの稼働時間拡大に対応して、10月9日から、インターネットバンキング及びＡＴＭの即時振込対応時間を拡大いたしました。

これにより、けんしんＢＡＮＫの口座から振込をする場合、インターネットバンキングは24時間、ＡＴＭは平日8時から21時、土・日・祝日は9時から19時まで、それぞれ365日、即時振込が可能となりました（メンテナンス時間帯を除く）。



お振込をご利用のお客さまへ

平成30年10月9日(火)から、
24時間365日 当日振込が可能となります。

●「けんしん」の口座から振込する場合の振込受付時間の拡大について

当日振込取扱可能時間

| | 窓口 | ATM | インターネットバンキング |
|---|---|---|---|
| 平日 | 9:00～15:00 | 8:00～21:00 | 0:00～24:00 |
| 土・日・祝日 | ― | 9:00～19:00 | 0:00～24:00 |

ご留意事項

1. 毎週日曜日22:00から翌月曜日8:00まではお取扱いできません。このほか、システムメンテナンスでお取扱いできない場合がございます。
2. 振込先の金融機関の取扱状況により、予約扱いとなる場合があります。
3. 組戻し、変更等の手続きは、今までどおり、平日の窓口営業時間中のお取扱いとなります。
4. 振込手数料およびATM手数料は変更ありません。

●「けんしん」の口座へ振込される場合の当日入金時間の拡大について

「けんしん」の口座へ振込される場合は、当日中に入金いたします。

ご留意事項

1. 当座預金への振込は、平日15時以降および土・日・祝日0:00～24:00の間は即時入金できません。
2. 毎週日曜日22:00から翌月曜日8:00まで、およびシステムメンテナンスの時間は即時入金できません。

けんしん BANK

## ○遺言代用信託商品「しんくみ相続信託」の取扱開始

オリックス銀行株式会社と信託契約代理店の業務委託契約を締結し、10月15日から、「しんくみ相続信託」の取扱いを開始いたしました。

これは、お申込人からお預かりした資金を、お申込人に相続が発生した際に、あらかじめご指定いただいた受取人に一括してお渡しする仕組みの商品です。

お申込み金額は１００万円以上５００万円以下（１００万円単位）で、元本が保証されており、中途解約が可能です（一部解約はできません）。

# セミナーの開催

長野県信用組合では、ノウハウが豊富な外部専門家・外部専門機関等と連携して、お取引先の経営を支援するサービスの多様化に努めており、その1つとして、様々なセミナーを開催し情報を発信しています。今期（平成30年度）の活動の一部をご紹介します。

## ○創業セミナー

女性目線を重視した創業セミナーを、当組合と株式会社日本政策金融公庫との主催により開催いたしました。

女性起業家4人によるパネルディスカッションでは、女性の視点で創業に必要な心構えなどが語られました。

第2部のパネルディスカッション（6月5日）

## ○シンガポール駐在員事務所 開設3周年記念セミナー

シンガポール駐在員事務所が開設3周年を迎えることを記念して、「シンガポールを介したASEANへの投資」と題したセミナーを開催。UOB銀行のエコノミストらによる講演が、日英同時通訳で行われました。

第一部の講演の様子（6月18日）

## ○飲食業者を対象としたセミナー

平成28年度から毎年度開催している飲食業者を対象とするセミナーについて、過去の参加者からの多くの要望により、講演時間をこれまでより延長して開催いたしました（当組合及び株式会社日本政策金融公庫主催）。

"飲食店"勉強会in長野（7月4日）

## ○求人ページ作成実践セミナー

参加者が、自社の求人ページを受講の間に完成できる実践セミナーを、著名な求人サイトを運営する株式会社ビズリーチから講師を招いて開催いたしました（当組合及び長野県プロフェッショナル人材戦略拠点主催）。

長野市で開催したセミナー（7月25日）

## ○経営者向けセミナー

中小企業の事務・管理部門のコンサルティングを行う株式会社エフアンドエムの講師等により、労使関係のトラブルや助成金などをテーマとする経営者向けセミナーを、県内7会場で順次開催しています。

箕輪会場のセミナー（9月19日）

## ○事業承継セミナー

事業承継支援の取組みとして、平成26年度から「事業承継セミナー」や「後継者ゼミナール（塾）」（全6講）の開講に毎年度取り組んでいます。

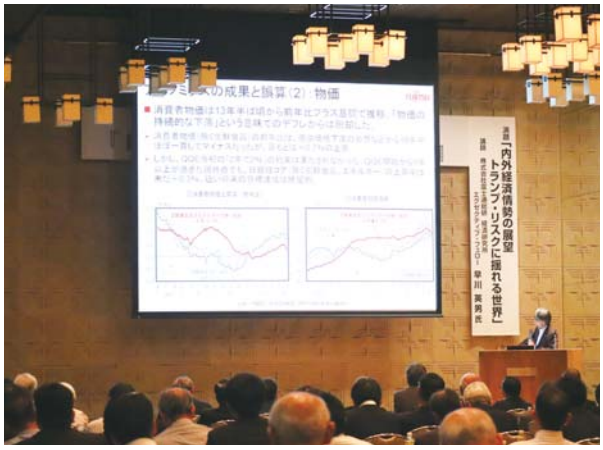
今年度は、TKC関東信越会長野支部との主催で、承継を考えている経営者及び承継予定者を対象とした事業承継セミナーを、県内9会場で順次開催しています。

松本会場のセミナー（9月21日）

# 地域活性化の取組み

## ○サークル活動の運営

お客さまとの強固な関係を築き、地域社会の発展に貢献することなどを目的として、営業店単位、あるいは地区単位で、経営研究会や年金友の会など全店で47のサークル会を運営しています。




「明日を活きる経営者の会」講演会風景（7月20日）

## ○地域イベントへの協力

地域を盛り上げるイベントに、積極的に協力しています。

松代支店では、平成30年春夏に行われた地域イベント用の着物モデルを2人の職員が務めました。

写真コンテストのモデル風景

## ○祭り・伝統行事への参加

県内各地で、地域の活性化を目指して行われる祭りや伝統行事に、役職員が積極的に参加しています。

第48回長野びんずる（8月4日）

## ○スポーツイベントへの参加

各地のマラソン大会をはじめとしたスポーツイベントに、職員が積極的に参加しています。

第20回長野マラソン（4月18日）

## ○ギャラリー・ロビー展の開催

9支店に専用のギャラリーを併設しているほか、営業店のロビーを活用して、地元のみなさまを中心とする各種展覧会など、文化活動の発表の場を提供しております。また、催し物の内容は、当組合のホームページを通して広く情報発信しています。

穂高支店ギャラリー（10月10日～31日開催の絵画展）

## ○地元教育機関との協力

篠ノ井支店で、地元の中学生が金融機関の仕事に接する、職場体験学習が行われました。

体験学習風景（10月12日）

# 大町支店

平成30年10月29日、新築移転し新店舗で営業を開始いたしました。

所　在　地■大町市大町3102-1

設　　備■•ATM 2台（手のひら静脈認証対応型）　•全自動貸金庫

365日営業

# 箕輪支店

平成30年11月26日、店舗を新設開店する予定です。

開店後所在地■上伊那郡箕輪町中箕輪8380-2

設　　備■•ATM 2台（手のひら静脈認証対応型）　•全自動貸金庫

24時間営業　　365日営業

# 主要経営諸指標

## 貸借対照表

（単位:百万円）

| 科　目 | 平成29年9月期（平成29年9月30日現在） | 平成30年9月期（平成30年9月30日現在） | 平成30年3月期（平成30年3月31日現在） |
|---|---|---|---|
| （資産の部） | | | |
| 現金 | 10,451 | 10,466 | 10,551 |
| 預け金 | 51,455 | 63,607 | 37,897 |
| 有価証券 | 671,590 | 665,920 | 672,966 |
| 貸出金 | 279,771 | 288,302 | 283,795 |
| その他資産 | 6,825 | 6,577 | 5,941 |
| 有形固定資産 | 15,740 | 14,978 | 15,914 |
| 無形固定資産 | 892 | 777 | 856 |
| 債務保証見返 | 824 | 796 | 830 |
| 貸倒引当金 | △4,359 | △4,252 | △4,481 |
| （うち個別貸倒引当金） | （△3,531） | （△3,586） | （△3,625） |
| 資産の部合計 | 1,033,191 | 1,047,174 | 1,024,272 |
| （負債の部） | | | |
| 預金積金 | 924,923 | 929,302 | 915,813 |
| 借用金 | 8,400 | 21,400 | 21,400 |
| その他負債 | 2,563 | 4,849 | 2,550 |
| 賞与引当金 | 458 | 445 | 358 |
| 役員賞与引当金 | — | — | 46 |
| 退職給付引当金 | 1,715 | 1,717 | 1,694 |
| 役員退職慰労引当金 | 38 | 56 | 47 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 38 | 42 | 45 |
| 偶発損失引当金 | 99 | 97 | 121 |
| 繰延税金負債 | 7,417 | 4,746 | 3,375 |
| 債務保証 | 824 | 796 | 830 |
| 負債の部合計 | 946,479 | 963,454 | 946,283 |
| （純資産の部） | | | |
| 出資金 | 1,057 | 1,052 | 1,052 |
| 普通出資金 | 1,057 | 1,052 | 1,052 |
| 利益剰余金 | 61,513 | 65,626 | 63,285 |
| 利益準備金 | 1,057 | 1,052 | 1,057 |
| その他利益剰余金 | 60,456 | 64,573 | 62,228 |
| 特別積立金 | 57,841 | 62,221 | 57,841 |
| 中間（当期）未処分剰余金 | 2,615 | 2,352 | 4,387 |
| 組合員勘定合計 | 62,570 | 66,678 | 64,338 |
| その他有価証券評価差額金 | 24,141 | 17,041 | 13,650 |
| 評価・換算差額等合計 | 24,141 | 17,041 | 13,650 |
| 純資産の部合計 | 86,711 | 83,720 | 77,988 |
| 負債及び純資産の部合計 | 1,033,191 | 1,047,174 | 1,024,272 |

## 損益計算書

（単位:百万円）

| 科　目 | 平成29年9月期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで） | 平成30年9月期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで） | 平成30年3月期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで） |
|---|---|---|---|
| 経常収益 | 9,249 | 9,898 | 17,955 |
| 資金運用収益 | 7,292 | 7,521 | 14,617 |
| 貸出金利息 | 2,581 | 2,496 | 5,127 |
| 預け金利息 | 20 | 24 | 41 |
| 有価証券利息配当金 | 4,670 | 4,981 | 9,426 |
| その他の受入利息 | 19 | 19 | 21 |
| 役務取引等収益 | 240 | 237 | 462 |
| 受入為替手数料 | 106 | 105 | 212 |
| その他の役務収益 | 134 | 131 | 250 |
| その他業務収益 | 1,406 | 1,510 | 1,958 |
| 国債等債券売却益 | 1,398 | 1,503 | 1,937 |
| その他の業務収益 | 7 | 7 | 21 |
| その他経常収益 | 309 | 629 | 917 |
| 貸倒引当金戻入益 | — | 229 | — |
| 償却債権取立益 | 1 | 3 | 6 |
| 株式等売却益 | 288 | 373 | 835 |
| その他の経常収益 | 19 | 24 | 75 |
| 経常費用 | 5,606 | 5,557 | 11,789 |
| 資金調達費用 | 294 | 219 | 544 |
| 預金利息 | 293 | 218 | 542 |
| 給付補填備金繰入額 | 0 | 0 | 1 |
| 借用金利息 | — | — | 0 |
| 役務取引等費用 | 498 | 540 | 1,002 |
| 支払為替手数料 | 42 | 42 | 84 |
| その他の役務費用 | 455 | 498 | 918 |
| その他業務費用 | 91 | 170 | 429 |
| 国債等債券売却損 | 89 | 167 | 425 |
| その他の業務費用 | 1 | 2 | 3 |
| 経費 | 4,551 | 4,504 | 9,226 |
| 人件費 | 2,614 | 2,675 | 5,215 |
| 物件費 | 1,753 | 1,647 | 3,654 |
| 税金 | 183 | 182 | 356 |
| その他経常費用 | 170 | 122 | 586 |
| 貸倒引当金繰入額 | 117 | — | 445 |
| 貸出金償却 | — | — | 0 |
| 株式等売却損 | 0 | 75 | 29 |
| その他の経常費用 | 51 | 47 | 111 |
| 経常利益 | 3,642 | 4,341 | 6,166 |
| 特別利益 | — | 0 | — |
| 固定資産処分益 | — | 0 | — |
| 特別損失 | 0 | 822 | 8 |
| 固定資産処分損 | 0 | — | 7 |
| 減損損失 | 0 | 822 | 0 |
| 税引前中間（当期）純利益 | 3,642 | 3,519 | 6,157 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 996 | 1,129 | 1,785 |
| 法人税等調整額 | 30 | 38 | △14 |
| 法人税等合計 | 1,027 | 1,168 | 1,770 |
| 中間（当期）純利益 | 2,614 | 2,351 | 4,387 |

## 経営指標の推移

（単位:百万円）

| | | 平成28年3月期 | 平成28年9月期 | 平成29年3月期 | 平成29年9月期 | 平成30年3月期 | 平成30年9月期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 利益 | 経常収益 | 18,652 | 10,761 | 20,959 | 9,249 | 17,955 | 9,898 |
| | 業務純益 | 6,643 | 2,790 | 5,056 | 3,464 | 5,768 | 3,834 |
| | 経常利益 | 6,139 | 2,993 | 5,739 | 3,642 | 6,166 | 4,341 |
| | 中間純利益（3月期は当期純利益） | 4,347 | 2,147 | 4,048 | 2,614 | 4,387 | 2,351 |
| 残高 | 預金積金残高 | 914,549 | 925,424 | 907,849 | 924,923 | 915,813 | 929,302 |
| | 貸出金残高 | 276,157 | 275,174 | 279,055 | 279,771 | 283,795 | 288,302 |
| | 有価証券残高 | 678,747 | 673,805 | 633,573 | 671,590 | 672,966 | 665,920 |
| | 総資産額 | 1,019,499 | 1,032,503 | 1,007,528 | 1,033,191 | 1,024,272 | 1,047,174 |
| | 純資産額 | 88,065 | 80,479 | 80,969 | 86,711 | 77,988 | 83,720 |
| 出資総額 | | 1,057 | 1,057 | 1,057 | 1,057 | 1,052 | 1,052 |
| 職員数 | | 680人 | 725人 | 714人 | 734人 | 721人 | 705人 |

## 有価証券の状況

（単位:百万円）

| | | 平成30年9月期 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 貸借対照表計上額 | 平成30年3月期比 | 評価損益 | 平成30年3月期比 | うち評価益 | うち評価損 |
| 保有目的別 | 満期保有目的 | 101,954 | △86 | 10,014 | △1,235 | 10,014 | — |
| | その他有価証券 | 563,966 | △6,958 | 23,443 | 4,723 | 25,628 | 2,184 |
| 合計 | | 665,920 | △7,045 | 33,457 | 3,487 | 35,642 | 2,184 |
| 種類別 | 株式 | 9,086 | △880 | 868 | 67 | 1,395 | 526 |
| | 債券 | 430,712 | △11,101 | 21,113 | △4,195 | 21,699 | 585 |
| | その他 | 226,121 | 4,936 | 11,475 | 7,615 | 12,547 | 1,072 |

（注）「評価損益」は、平成30年9月末時点の帳簿価額と市場価格等に基づく時価との差額を計上しております。

## 諸利回・諸比率

（単位:%）

| | 平成29年9月期 | 平成30年9月期 | 平成30年3月期 |
|---|---|---|---|
| 資金運用利回 | 1.51 | 1.53 | 1.51 |
| 経費率 | 0.99 | 0.98 | 1.00 |
| 資金調達原価率 | 1.05 | 1.01 | 1.05 |
| 総資金利鞘 | 0.46 | 0.52 | 0.46 |
| 預貸率(末残) | 30.24 | 31.02 | 30.98 |
| 預証率(末残) | 72.61 | 71.65 | 73,48 |
| 業務収支率 | 61.23 | 58.63 | 66.14 |

# 不良債権等の情報

## リスク管理債権及び同債権に対する保全額

（単位:百万円、%）

| 区分 | | | 残　高 (A) | 担保・保証等 (B) | 貸倒引当金 (C) | 保全率 {(B+C)／A×100} |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 破綻先債権 | 平成30年3月期 | | 424 （0.14） | 54 | 370 | 100.00 |
| | | ※ | 63 （0.02） | 54 | 8 | 100.00 |
| | 平成30年9月期 | | 448 （0.15） | 70 | 377 | 100.00 |
| | | ※ | 76 （0.02） | 70 | 5 | 100.00 |
| 延滞債権 | 平成30年3月期 | | 7,393 （2.60） | 3,526 | 3,238 | 91.49 |
| | | ※ | 5,806 （2.06） | 3,526 | 1,651 | 89.17 |
| | 平成30年9月期 | | 7,331 （2.54） | 3,503 | 3,191 | 91.31 |
| | | ※ | 5,712 （1.99） | 3,503 | 1,573 | 88.85 |
| 3か月以上延滞債権 | 平成30年3月期 | | ―（ ―） | ― | ― | ― |
| | | ※ | ―（ ―） | ― | ― | ― |
| | 平成30年9月期 | | ―（ ―） | ― | ― | ― |
| | | ※ | ―（ ―） | ― | ― | ― |
| 貸出条件緩和債権 | 平成30年3月期 | | 248 （0.08） | 187 | 16 | 82.14 |
| | | ※ | 248 （0.08） | 187 | 16 | 82.14 |
| | 平成30年9月期 | | 175 （0.06） | 124 | 11 | 77.22 |
| | | ※ | 175 （0.06） | 124 | 11 | 77.22 |
| 合計 | 平成30年3月期 | | 8,066 （2.84） | 3,768 | 3,625 | 91.65 |
| | | ※ | 6,118 （2.17） | 3,768 | 1,677 | 88.99 |
| | 平成30年9月期 | | 7,955 （2.75） | 3,698 | 3,581 | 91.49 |
| | | ※ | 5,964 （2.08） | 3,698 | 1,590 | 88.65 |

残高（　）内は、貸出金残高に占める比率

## 金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

（単位:百万円、%）

| 区分 | | | 残　高 (A) | 担保・保証等 (B) | 貸倒引当金 (C) | 保全額 (D=B+C) | 保全率 (D／A×100) | 貸倒引当金引当率 (C/(A-B)×100) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 平成30年3月期 | | 3,575 （1.25） | 1,378 | 2,197 | 3,575 | 100.00 | 100.00 |
| | | ※ | 1,621 （0.57） | 1,378 | 243 | 1,621 | 100.00 | 100.00 |
| | 平成30年9月期 | | 3,550 （1.22） | 1,358 | 2,191 | 3,550 | 100.00 | 100.00 |
| | | ※ | 1,552 （0.54） | 1,358 | 193 | 1,552 | 100.00 | 100.00 |
| 危険債権 | 平成30年3月期 | | 4,274 （1.50） | 2,227 | 1,417 | 3,645 | 85.28 | 69.27 |
| | | ※ | 4,274 （1.51） | 2,227 | 1,417 | 3,645 | 85.28 | 69.27 |
| | 平成30年9月期 | | 4,253 （1.47） | 2,232 | 1,384 | 3,617 | 85.03 | 68.50 |
| | | ※ | 4,253 （1.48） | 2,232 | 1,384 | 3,617 | 85.03 | 68.50 |
| 要管理債権 | 平成30年3月期 | | 248 （0.08） | 187 | 16 | 204 | 82.14 | 27.43 |
| | | ※ | 248 （0.08） | 187 | 16 | 204 | 82.14 | 27.43 |
| | 平成30年9月期 | | 175 （0.06） | 124 | 11 | 135 | 77.22 | 22.86 |
| | | ※ | 175 （0.06） | 124 | 11 | 135 | 77.22 | 22.86 |
| 不良債権合計 | 平成30年3月期 | | 8,098 （2.84） | 3,793 | 3,631 | 7,425 | 91.68 | 84.36 |
| | | ※ | 6,144 （2.17） | 3,793 | 1,677 | 5,471 | 89.04 | 71.36 |
| | 平成30年9月期 | | 7.979 （2.75） | 3,715 | 3,587 | 7,303 | 91.52 | 84.13 |
| | | ※ | 5,982 （2.08） | 3,715 | 1,590 | 5,305 | 88.69 | 70.15 |
| 正常債権 | 平成30年3月期 | | 276,726 | | | | | |
| | | ※ | 276,726 | | | | | |
| | 平成30年9月期 | | 281,307 | | | | | |
| | | ※ | 281,307 | | | | | |
| 合計 | 平成30年3月期 | | 284,825 | | | | | |
| | | ※ | 282,871 | | | | | |
| | 平成30年9月期 | | 289,287 | | | | | |
| | | ※ | 287,289 | | | | | |

残高（　）内は、総与信残高に占める比率

各区分ごとに参考数値を記載しております。

### ※部分直接償却について

当組合は、部分直接償却を実施しておりません。部分直接償却を実施した場合は、表記（※印のついた行）のとおりとなります。

部分直接償却とは、自己査定により回収不可能又は無価値と判定された担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（Ⅳ分類債権額）を回収不能見込額として、債権額から直接減額することです。

# 自己資本の充実の状況等

## 自己資本の構成に関する開示事項

（単位:百万円）

| 項目 | 平成30年9月期 | 経過措置による不算入額 |
|---|---|---|
| コア資本に係る基礎項目　(1) | | |
| 普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額 | 66,678 | |
| うち、出資金及び資本剰余金の額 | 1,052 | |
| うち、利益剰余金の額 | 65,626 | |
| うち、外部流出予定額(△) | ― | |
| うち、上記以外に該当するものの額 | ― | |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 666 | |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | 666 | |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | ― | |
| コア資本に係る基礎項目の額　(イ) | 67,345 | |
| コア資本に係る調整項目　(2) | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | 450 | 112 |
| うち、のれんに係るものの額 | ― | ― |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | 450 | 112 |
| コア資本に係る調整項目の額　(ロ) | 450 | |
| 自己資本 | | |
| 自己資本の額((イ)−(ロ))　(ハ) | 66,894 | |
| リスク・アセット等　(3) | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 365,702 | |
| 資産(オン・バランス)項目 | 358,941 | |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | 112 | |
| うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。) | 112 | |
| オフ・バランス取引等項目 | 6,627 | |
| ＣＶＡリスク相当額を８%で除して得た額 | 132 | |
| 中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額 | 0 | |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を８%で除して得た額 | 26,419 | |
| リスク・アセット等の額の合計額　(ニ) | 392,121 | |
| 自己資本比率 | | |
| 自己資本比率((ハ)／(ニ)) | 17.05% | |

（注）　自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第22号）」に基づき算出しております。

なお、当組合は国内基準を採用しております。

## 金利リスクに関する事項

### アウトライヤー基準に基づく金利リスク

（単位:百万円）

| | 平成30年9月期 |
|---|---|
| | 金利リスク(アウトライヤー基準) |
| 金利ショックに対する経済価値の低下額Ⓐ | 24,206 |

（単位:百万円）

| 運用勘定 | | 調達勘定 | |
|---|---|---|---|
| 区分 | 金利リスク量 平成30年9月期 | 区分 | 金利リスク量 平成30年9月期 |
| 貸出金 | 1,487 | 流動性預金 | △634 |
| 有価証券等 | 24,500 | 定期性預金 | △1,193 |
| 預け金 | 71 | その他 | △24 |
| 運用勘定合計Ⓑ | 26,059 | 調達勘定合計Ⓒ | △1,852 |

金利ショックに対する経済価値の低下額「金利リスク」Ⓐ ＝ 運用勘定の金利リスク量Ⓑ ＋ 調達勘定の金利リスク量Ⓒ
（24,206百万円）　（26,059百万円）　（△1,852百万円）

金利リスクの自己資本の額に対する比率は、バーゼルⅢに基づく国内基準で36.18%となります。

今後も当組合は、収益性を考慮しつつ金利リスクの軽減に努めるとともに、経営体力強化のために利益の積み上げによる自己資本の増強を図ります。

●お問い合わせ先
〒380-8668　長野市新田町1103番地1
総合企画部　TEL.026-233-2111㈹
[ホームページ] https://www.naganokenshin.jp
[E - m a i l] nkenshin@naganokenshin.jp

けんしん BANK ATM

セブン銀行ATM

けんしんBANKのカードご利用で

# いつでも ご利用手数料 0円※

24時間ご利用OK

※けんしんBANKのカードをセブン銀行ATMでご利用いただく場合、108円（消費税等含む）が必要となる有料の時間帯がありますが、即時、お客さまの口座にキャッシュバックいたします。

●セブン銀行ATMは店舗により営業時間が異なります。●システムメンテナンス等によりご利用いただけない時間帯がございます。

すぐ必要になるお金に備える

# しんくみ 相続信託

元本保証

もしものとき―。ご家族の頼りは、引き出しやすい資金です。

相続が発生したとき、複雑な手続きに悩まされることなく、スムーズに受取人がご資金を一括で受け取ることができます。

●「しんくみ相続信託」の特長

**特長 1**
管理報酬※は無料です。
大切なご資金を守りながら運用できます。

**特長 2**
安心の元本保証です。
元本が保証されている商品なので安心です。

**特長 3**
中途解約ができます。
中途解約ができる商品なので安心です。（ただし全部解約のみとなります。）

遺言書を作成することなく、ご資金の受取人を決定できます。

お申し込みは100万円から。手軽に始められます。

相続の際は、全額を一括で受け取ることができます。

＊管理報酬とは　信託商品では、その管理に必要なコストを管理報酬（信託報酬）として申込人（ご本人さま）にご負担いただく場合がありますが、「しんくみ相続信託」は無料としています。

●当組合は、この商品に係る信託契約の締結を媒介します。ご契約に際しては、お客さまとオリックス銀行株式会社（所属信託兼営金融機関）がご契約の当事者になります。

●詳しくは、窓口または担当者までお問い合わせください。

けんしん BANK